

平成19年度農林水産省委託事業  
有機JAS検査員研修会について

平成 19 年 11 月

関係者各位

社団法人 日本農林規格協会

## 平成19年度 農林水産省委託事業 有機 JAS 検査員研修会の開催について

社団法人日本農林規格協会(JAS 協会)では、農林水産省の委託事業として有機食品の検査員を対象とする研修会を下記のとおり開催いたします。

この研修会では、検査員に必要な知識の習得を目指してカリキュラムを編成いたします。

関係者の皆様におかれましては、当研修会をご案内いただき、検査員研修の良い機会としていただければ幸いです。

### 記

#### 1. 開催日程

以下の開催時間は、いずれも1日目は13:30から18:00、2日目は9:20から16:00までを予定しています。

開催場所への案内図は、参加証と併せてご案内いたします。

開催地	定員	開催日	開催場所
仙台	50名	平成20年1月10日(木) ～1月11日(金)	仙台青葉カルチャーセンター 4階403号室 宮城県仙台市青葉区一番町2-3-10 プラザー仙台ビル
東京	50名	平成20年1月17日(木) ～1月18日(金)	馬事畜産会館 2階第1～3会議室 東京都中央区新川2-6-16
札幌	50名	平成20年1月22日(火) ～1月23日(水)	ホテルノースイン札幌 北農健保会館 3階大会議室 北海道札幌市中央区北4条西7丁目1-4
熊本	50名	平成20年2月19日(火) ～2月20日(水)	熊本市産業文化会館 6階第6会議室 熊本県熊本市花畑町7-10
大阪	50名	平成20年2月26日(火) ～2月27日(水)	グランキューブ大阪 10階1008号室 大阪市北区中之島5-3-51

#### 2. 参加費 (資料代として)

- 1000円(財務省指導による受益者負担として当日に集金させていただきます。)

#### 3. 参加資格

- 有機農産物及び有機加工食品の検査員及びこれらを目指す方

#### 4. 受講証明書

- 研修を修了した方には、受講証明書を発行いたします。

## 5. カリキュラム

	時間		内容	講師
1 日 目	13:30~13:40	(10)	(事務連絡・あいさつ)	JAS協会・農林水産省
	13:40~14:30	(50)	JAS法	JAS協会
	14:30~14:40	(10)	(休憩)	
	14:40~15:50	(70)	関係法規概要 (品質表示基準、特別栽培農産物 ガイドライン、有機農業推進法)	農林水産省
	15:50~16:00	(10)	(休憩)	
	16:00~16:50	(50)	ISOガイド65、ISO19011	FAMIC
	16:50~17:50	(60)	JAS制度と有機認証制度	FAMIC
	17:50~18:00	(10)	質疑応答	JAS協会、農林水産省、FAMIC
2 日 目	9:20~10:40	(80)	有機農産物のJAS規格	認定機関
	10:40~10:50	(10)	(休憩)	
	10:50~11:50	(60)	有機加工食品のJAS規格	認定機関
	11:50~12:00	(10)	質疑応答	認定機関
	12:00~13:00	(60)	(休憩)	
	13:00~14:30	(90)	【検査の準備と実地検査演習】	JOIA
	14:30~14:40	(10)	(休憩)	
	14:40~15:40	(60)	【検査報告書の書き方演習】	JOIA
	15:40~15:55	(15)	質疑応答	JOIA、認定機関
	15:55~16:00	(5)	(事務連絡)	JAS協会

## 6. 説明会当日について

- 説明会場へは、公共の交通機関をご利用のうえお越し下さい。車でお越しいただいた場合の駐車場は、当協会では用意しておりませんので予めご了承ください。
- 事前にお申込のない方は、ご参加いただけません。(申し込み後、参加者に変更のある場合は開催日の1週間前までにご連絡ください。)
- 食事及び宿泊は、各自でご用意ください。

## 7. 申込方法

- 参加希望者は、所定の参加申込書に必要事項を記入のうえ FAX(03-3249-9388)でお申し込みください。受付後、順次、参加証を郵送いたします。
- 参加は申込み先着順とさせていただきます。定員を超えた場合は、参加をお断りすることがありますので、予めご了承ください。
- 受付の締切日は、開催日の1週間前といたします。

〈お問い合わせ〉

(社)日本農林規格協会 事務局 担当:武雄、大野  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-5-2  
TEL:03-3249-7120 FAX:03-3249-9388

## 5.4 有機 JAS 検査員研修会

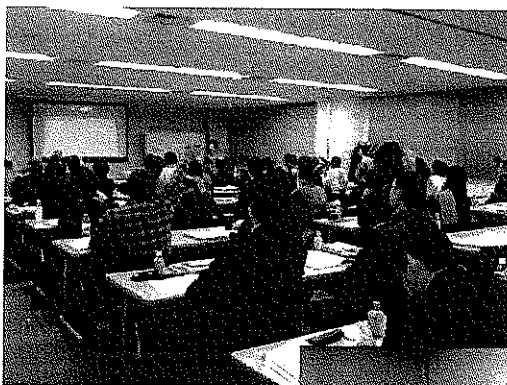
有機食品の検査員及びこれらを目指す者を対象に、検査員に必要な知識の習得を目的として研修会を開催した。

### (1) 告知方法

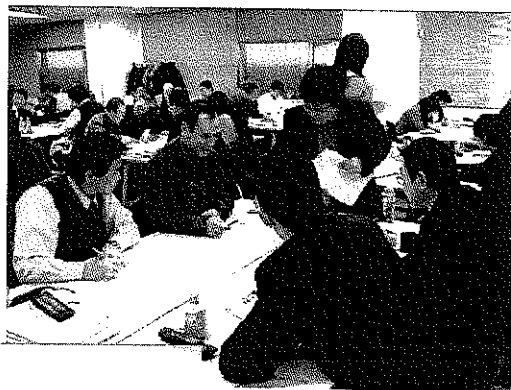
有機食品の登録認定機関等を通じて検査員への案内を行った。

### (2) 開催日程及び参加人数

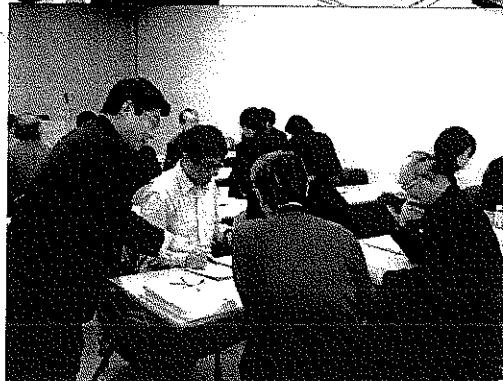
開催地	日程	会場	参加人数
仙台	平成 20 年 1 月 10 日 (木) ～1 月 11 日 (金)	仙台青葉カルチャーセンター 4 階 403 号室 宮城県仙台市青葉区一番町 2-3-10 ブラザー仙台ビル	58 名
東京	平成 20 年 1 月 17 日 (木) ～1 月 18 日 (金)	馬事畜産会館 2 階第 1～3 会議室 東京都中央区新川 2-6-16	57 名
札幌	平成 20 年 1 月 22 日 (火) ～1 月 23 日 (水)	ホテルノースイン札幌 北農健保会館 3 階大会議室 北海道札幌市中央区北 4 条西 7 丁目 1-4	52 名
熊本	平成 20 年 2 月 19 日 (火) ～2 月 20 日 (水)	熊本市産業文化会館 6 階第 6 会議室 熊本県熊本市花畑町 7-10	46 名
大阪	平成 20 年 2 月 26 日 (火) ～2 月 27 日 (水)	グランキューブ大阪 10 階 1008 号室 大阪市北区中之島 5-3-51	55 名
合計			268 名



▲講義の様子 (東京)



▲グループ演習 (東京)

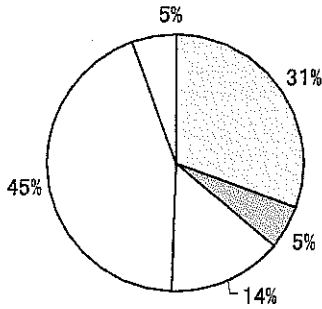


▲グループ演習 (大阪)

(4) アンケート結果

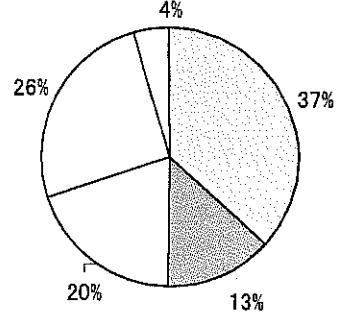
研修会の参加者を対象にアンケートを実施したところ、以下の回答が得られた。  
(n=202)

検査員として、検査のご経験はどのくらいですか (n=202)



□ 1年未満  
 ■ 1年以上2年未満  
 □ 2年以上3年未満  
 □ 3年以上  
 □ 無回答

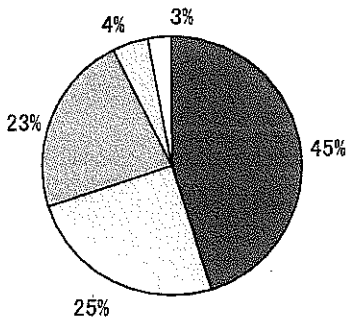
最近の検査回数はどのくらいですか (n=202)



□ 1~5件/年  
 ■ 6~10件/年  
 □ 11件以上/年  
 □ 未経験  
 □ 無回答

また、研修会の感想を項目ごとに尋ねたところ、以下の回答が得られた。

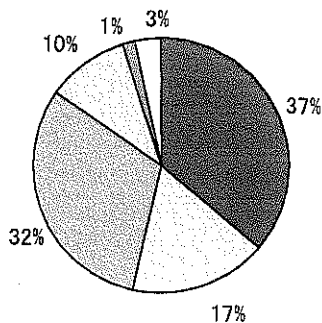
① プログラム構成 (n=202)



■ 良い  
 ■ やや良い  
 □ 普通  
 □ やや悪い  
 □ 無回答

- ・体系的研修会で有益であった。
- ・通常は法令、省令、法律全体を通読することがないので、大変勉強になった。
- ・演習問題が楽しかった。
- ・クイズあり、演習ありで良いと思った。
- ・参加者のレベルの違いがあるので、基礎もあり応用もありでよかったと思う。
- ・1日目の内容の重複部分が多い。
- ・1日目に同じようなプログラムが続きリフレッシュするのが難しい

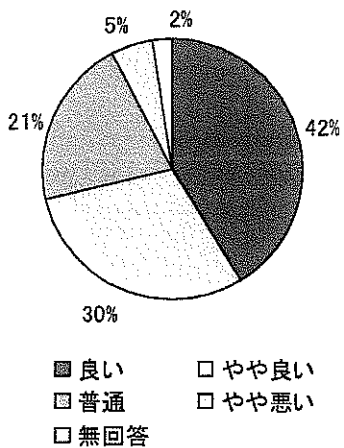
② 時間配分 (n=202)



■ 良い  
 ■ やや良い  
 □ 普通  
 □ やや悪い  
 □ 悪い  
 □ 無回答

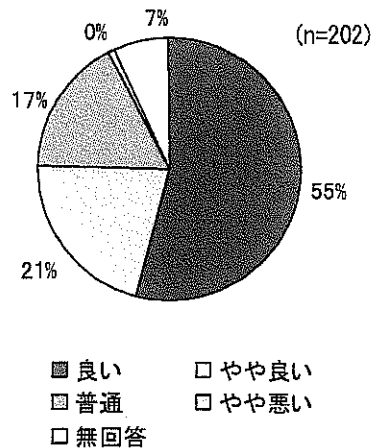
- ・延びたりしたものもあったが、全体的にまとまっている感じがした。
- ・約1時間でトイレ休憩も取れるし、緊張も保てた。
- ・1日目終了時間17:00にして欲しい。
- ・1日目の各項目の説明には時間が足りないと思った。
- ・演習にもっと時間をかけて頂きたい。
- ・検査員として必要な JAS 規格、認定の技術的基準に時間を使っていたきたい。

③研修内容 (n=202)



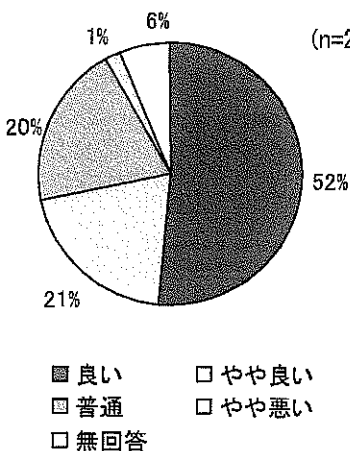
- ・「関係法規概要」は初心者には混乱を招く。
- ・「JAS 制度と有機認証制度」は登録認定機関向けの内容が主で検査員向きか疑問だ。
- ・「特裁ガイドライン」はなくても良い。
- ・演習が入って研修らしくなった。
- ・実際のは場での実地検査演習もして欲しい。
- ・棒読みの説明が多すぎる。講師の上手・下手を大きく感じた。
- ・具体例を挙げて説明いただければより理解しやすいと思う。

④有機農産物の検査認証ハンドブックの内容



- ・とてもわかりやすく参考になります。
- ・改訂の項目がまとめられていて理解しやすい。
- ・検査認証制度に関する全般的内容が良い。
- ・キノコが詳細に紹介しており、非常に有用。
- ・従来より分かりやすい事項説明がなされている。

⑤資料内容 (有機農産物の検査認証ハンドブック以外)



- ・分かりやすくまとめてあり、審査に持参しやすい。
- ・パワーポイントの出力用紙は一部配布の必要がないのではと思えるものがありました。
- ・演習例題はよく考えられている。
- ・最近の情報も含まれ、役に立つ。
- ・参考資料 1、2 (JAS 規格、認定の技術的基準、Q&A、三段表) は使い易くて良い。

今回の研修で学んだことのなかで、特に、これからの業務に反映させたいと思う事項として以下の意見があった。

- ・ 基本的な骨格をつかむことができたので、自分の機関の定めている諸々について見直しを行っていくなど業務に反映させていきたい。
- ・ JAS 法を説明するのにクイズ形式+三段表の活用が学びやすく今後役に立ちそうです。
- ・ ガイド 65 の説明が良かったです。ガイドを読んだだけではわかりにくいところがわかりやすく説明されていました。認定機関として業務の見直しに活用できたら良いと思います。
- ・ 演習プログラムはとても参考になりました。検査の進め方、検査の時の考え方、報告書の書き方などに反映させたいです。
- ・ 検査の準備と実地検査演習・検査報告書の書き方演習実務にあたる者として大変参考になった。
- ・ 検査の手順を確立すべきだと改めて実感しました。初心に帰るべきこと。
- ・ 今後、認定機関でも生産者向けの説明会を開催いたしますので、参考資料として活用したいと思います。また、検査員、判定員向けの勉強会の資料としても活用したいと思います。
- ・ 演習グループ内に農家の方がいらして、現場の話があり勉強になった。

今後、同様の研修会が開催される場合、取り上げて欲しいテーマについて聞いたところ、以下の回答があった。

- ・ 最近の情報。
- ・ 認定の技術的基準、JAS 規格等の改正点。
- ・ 同等の制度を有する他国の状況。
- ・ 2008 年の検討会の討議結果。
- ・ 過去 1 年の実際の不適合の例。
- ・ Codex の動き。
- ・ ガイド 65、ISO19011 と三段表をわかりやすく説明して欲しい
- ・ テーマの中で具体例を多く提示していただきたいと思いました。
- ・ 演習の充実をお願いします。
- ・ 検査員は日本以外でも活動しているので、外国生産行程管理者等の話もして欲しいし、事例をもっと FAMIC や農水の方に話して欲しい。
- ・ 前もって質問を集めておき、Q&A も含め説明する時間があればよい。
- ・ 講師を含めた Q&A・意見交換（各機関の状況を含む）の時間があつたらありがたい。
- ・ 資材の具体的な確認について、ホームページやメーリングリストで随時確認でき、かつ研修会で総括できればと思う。
- ・ 肥料、資材の評価方法について、時間がもう少しあると良いかと思います。